

回覧

コミュニティースクール

東小 CS だより

生駒東小学校運営協議会
会長 福井敏雄
学校長 古川奈保子
連絡先 0743-74-3572

令和4(2022)年3月1日

3学期からは、地域の人材をお迎えして、「お話し会」「昔の遊びを楽しもう」「昔のくらしを知ろう」などで講話をしたり、図工や家庭科などの授業の補助や、クラブ活動の指導など多くの活動を計画し、本格的に「地域学校協働活動」を実行しようと意気込んで準備を進めてきましたが、周知のように第6波が爆発的に流行し、ほとんどの活動を中止せざるをえなくなりました。

とりわけ1月20日に予定していた地域交流会では、皆様と直接お会いし、今年度の東小学校の取り組みや、地域学校協働本部の活動や今後の予定についてご理解いただける絶好の機会と思っておりましたが、感染者急増で残念ながら中止となりました。

唯一、感染者数が少なかった1月13日には、3年生全員を対象に「昔の東小学校区にくらし」についてお話を聞かせていただきました。

講師には東小学校運営協議会役員でもあり、先祖代々当地域で生活され、子供たちにとって、ちょうどお爺ちゃんの年代にあたる中川義三さんをお願いしました。



「100年ほど前は東生駒駅になるところは田んぼ、東小になるところはほとんど山で数軒ほどの農家があり、米作りや、山の木を切った薪作り、炭焼きなどが中心の生活であった。」
「田畑を耕すすき(農機具)を引いたり、荷車で物を運ぶなどの動力として牛はとても大切にされ、ほとんどの家では玄関を入った右側のあたりに牛小屋があり家族も同じ屋根の下で暮らしていた。」
「大正時代には生駒トンネルができた。」
「53年前に東生駒駅ができ、その頃から山が開かれ現在の住宅地ができ、48年前に東小学校が開校した。」等々、この地で生まれ育った体験からの生のお話を聞くことができました。

子どもたちからは「その頃の遊び、生活用水、外出時の灯り、暖房、消防、防犯はどうしていたのか」「水車はあったのか」など活発な質問がありました。ぜひ、今後の郷土の学習に役立ててほしいと思います。

コロナ禍で子どもたちと接触を避けなければならない状況下で、唯一1年を通して関わっていた



だいたいの足22年を誇る子ども応援隊の皆さんでした。

応援隊の皆さんの頑張っておられる様子を見学させていただきました。

今年は例年になく、とても寒い日が続いていますが、「おはよう」「行ってらっしゃい」とあいさつする方、にこやかに話しかける方、顔を合わせるとじゃんけんをする方等々様々な接し方をしながら、子どもたちの元気な顔、不安げな顔を見ながらその日の心の状態を感じ取っていただいていると思います。それに応える子どもたちのにこやかな様子から応援隊の皆さんとの絆の強さを感じました。本当に毎日お疲れ様です。心より感謝申し上げます。(文責 福井敏雄)